

事業実績書

令和3年3月18日

団体名 黒谷和紙協同組合

事業の目的	1500年の日本の紙文化を守るとともに、黒谷和紙の伝統産業の技術継承発展のため。
事業の名称	伝統産業産地振興事業
事業費 (市補助金)	4,154,998円 (2,672,000円)
補助金の使途	黒谷和紙の技術の継承発展、後継者技術者の育成 黒谷和紙の広報・PR活動を担える人材の確保 施設及び用具の修理補修
事業実施期日	令和2年4月1日～令和3年3月31日
事業実施場所	綾部市内
事業の概要	紙文化を守るとともに、黒谷和紙の継承発展に努力し、後継者・技術者の育成に努める。 広報・PR、交流イベントなどの運営、販売促進活動等を担える人材を確保し配置する。 紙漉き実演・体験・地域交流型イベントの開催や、新商品の研究を行う。 老朽化した施設及び用具の修理補修を行う。
補助金の効果	今年度も黒谷和紙会館と工芸の里に各1名ずつの人員を配置した。コロナの影響を受けて生活が一変し、販売高、来館者が減少する中、これまでとは違った対応を迫られる一年であったが、制限をしながらのイベントの開催や新商品のネット販売を企画運営した。また、両館とも新型コロナウイルス感染拡大防止対策

を講じ、安心して体験して頂けるように施設の整備を行った。
黒谷和紙会館では、主に事務作業、商品倉庫の整理と、商品開発などにあたった。具体的には

- ・手書きによる帳票類のデジタル化を行った。
- ・簡単に商品の出し入れや在庫確認ができるように商品倉庫の整理を行った。

これにより、事務処理と商品管理の時間短縮が見込まれ、他の業務に時間を使うことが期待できる。

- ・新しい商品の開発に取り組んだ。

プリンターで印刷できる証書用紙の試作品がほぼ完成し、次年度に向けて販売を開始する予定。

黒谷和紙工芸の里では主に、イベント開催、開館日のお客様対応、事務処理、楮の処理にあたった。具体的には

- ・展示場にて「和紙のプチ知識室」を開催
- ・展示場および、本館2階廊下を利用して「ワシデキリエ」展を開催。
- ・工芸の里限定商品の企画販売。
- ・楮の黒皮をかごそろえ機により白皮への加工を行った。

施設及び用具の修繕を行い、より質の良い製紙が行えるようにした。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支計算書

令和3年3月18日

団体名 黒谷和紙協同組合

(単位 円)

	区 分	予算額	収入済額	明 細
	収入の部	市補助金	2,672,000	2,672,000
賦課金		192,000	192,000	24,000×8名
産地振興事業 (自己資金)		1,252,000	1,090,998	
雑収入		184,000	200,000	体験料他
合 計		4,300,000	4,154,998	
	区 分	予算額	支出済額	明 細
	支出の部	人件費	2,112,000	2,463,858
業務費		880,000	753,322	PRイベント等開催 全国手漉き和紙大会 参加費 他
研究費		400,000	328,420	研修会 他
施設費		888,000	565,198	施設・用具修理費
雑費		20,000	44,200	
合 計	4,300,000	4,154,998		
差 引		0	0	